

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	日本史		
担当者(Instructors)	小久保 嘉紀	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)			
<p>「日本中世の歴史と文化」 鎌倉時代から信長・秀吉・家康の時代を対象に、現在どのような新たな発見や通説の見直しがあるのか、最新の研究成果を踏まえて概説する。また現代まで残る、行事・しきたり・食物・言葉といった生活文化の由来にも着目する。なお、社会が大きく変動した時代である戦国時代や、また東海地域と関係の深い信長・秀吉・家康についてとくに重点的に扱う。</p>			

■ 授業形態・授業の方法 (Class form)	
授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	<p>前半8回を対面授業、後半7回をリモート授業とする。 なお、リモート授業(オンデマンド型)については、講義資料(板書編・解説編)・授業レジュメを配信する。講義資料(板書編)は、通常の授業の場合に板書で書く内容であり、講義資料(解説編)は、教員が口頭で説明することを原稿化したものである。また、授業レジュメには絵図や参考資料を載せる。なお、毎授業後の小テストへの回答をもって出席とする。</p>

■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	【対面】 授業を始めるに当たり、授業の目的や内容、また今後の予定について説明する。それと併せて、受講に際しての諸注意や成績評価の基準についても説明する。	□
第2回	鎌倉時代—武家社会とその文化—	【対面】 武士の登場や源平の争乱、鎌倉幕府の成立について講義する。鎌倉幕府の成立年をめぐる議論や、北条氏が幕府の実権を握るに至った背景について考える。また、現代まで残る武家文化の影響についても考える。	□
第3回	南北朝時代—後醍醐天皇と建武の新政—	【対面】 南北朝分裂の背景や後醍醐天皇の政治姿勢、またその敗北の背景について講義する。「二条河原の落書」などの史料や、後醍醐天皇像・騎馬武者像などの絵画資料にも注目する。	□
第4回	室町時代①—足利義満と勘合貿易—	【対面】 初期室町幕府の足利尊氏・直義の二頭政治、また足利義満による勘合貿易のしくみについて講義する。なぜその後、勘合貿易が中止になったのかについても考える。	□
第5回	室町時代②—応仁の乱・明応の政変—	【対面】 6代将軍、足利義教が将軍に就任した経緯、また応仁・文明の乱と明応の政変の背景について講義する。なぜ近年は、戦国時代の始まりは応仁・文明の乱ではなく明応の政変とされるのかについて考える。	□
第6回	戦国時代①—武田信玄と上杉謙信—	【対面】 代表的な戦国大名である、武田信玄と上杉謙信について講義する。「武田の騎馬隊」の実像や「川中島の戦い」の歴史的评价、また「敵に塩を送る」の逸話の実像について考える。	□
第7回	戦国時代②—戦国の文化・芸能—	【対面】 戦国時代に生まれた合戦文化や武士の思想、また公家・武家から始まり民衆にも広まった茶や生け花、連歌や歌謡などの文化・芸能について講義する。なお、現代まで残る祭礼の由来についても扱う。	□
第8回	戦国時代③—戦国の世界と日本—	【対面】 戦国時代の日本と世界の関係について講義する。鉄砲伝来をめぐる近年の学説や、キリスト教伝来の背景について考える。また、現代まで残る南蛮文化の影響についても考える。	□

第9回	織田信長①—桶狭間・長篠の戦い—	【リモート】 この東海地域で起きた、桶狭間・長篠の戦いについて講義する。桶狭間の場所をめぐる議論や、長篠の戦いで鉄砲の実態について考える。また、『信長公記』と『甫庵信長記』の違いにも着目する。	<input type="checkbox"/>
第10回	織田信長②—信長の国家像—	【リモート】 信長がどのような政治思想を持っていたのか、印判と花押を通して考える。また、楽市楽座令の背景や、安土城築城に込めた信長の政治的意図についても考える。	<input type="checkbox"/>
第11回	本能寺の変について	【リモート】 本能寺の変の歴史的背景について講義する。とくに、近年注目されている「四国問題」説について考える。また当時の史料から、本能寺の変が起きた際の現場の状況にも注目する。	<input type="checkbox"/>
第12回	豊臣秀吉①—秀吉の国家像—	【リモート】 信長死後、秀吉がどのように織田政権を克服しようとしたのか、またどのような国家を目指そうとしたのかを考える。また、秀吉が出したパテレン追放令・刀狩令の背景についても考える。	<input type="checkbox"/>
第13回	豊臣秀吉②—文禄・慶長の役—	【リモート】 朝鮮出兵はなぜ起きたのか、また秀吉は明をどのように認識していたのかを考える。そして、世界史的な視点から見る朝鮮出兵の位置付けについて考察する。	<input type="checkbox"/>
第14回	徳川家康①—松平氏と三河—	【リモート】 家康の出身である松平氏と三河の関係について講義する。松平氏がどのように安城そして岡崎へと進出したのか、また家康と三河一向一揆の戦いについても考える。	<input type="checkbox"/>
第15回	徳川家康②—関ヶ原の戦い・大坂の陣—	【リモート】 家康が天下人となった、関ヶ原の戦い・大坂の陣の背景について講義する。また、関ヶ原の戦いを経て大坂の陣へと至る、徳川家と豊臣家の関係の推移にも着目する。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

〈前回の授業について〉前回の授業内容を見直し、復習を行う。（1時間程度） 〈今回の授業について〉今回の授業内容を見直し、要点を整理する。（1時間程度） レジュメに記載された参考文献を参照するなどして、さらに理解を深める。（1時間程度） 〈次回の授業について〉下記の参考図書や高校までの教科書などを参照し、次回の授業の予習を行う。（1時間程度）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

小テストは、採点の上で返却する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019全学共通DP1	歴史的背景を読み取る力を身につけることができる。また、とくに東海地域の歴史への理解を深めることができる。そして、授業を通して学んだことを、各自の専門分野に生かすことができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
70%			30%	

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	無し。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	『日本中世史』全4巻 (岩波新書、2016年)	
2	二木謙一 『中世武家の作法』 (吉川弘文館、1999年)	4-642-06657-8
3		
4		
5		